

主 文

本件各上告を棄却する。

理 由

弁護人篠田龍谷の上告趣意は、違憲（憲法一四条、一五条、四四条違反）をいうが、公職選挙法二五二条、一一条が所論憲法の各規定に違反しないことは、当裁判所の判例（昭和二九年（あ）第四三九号同三〇年二月九日大法廷判決・刑集九卷二号二一七頁、昭和二九年（あ）第三〇四五号同三〇年五月一三日第二小法廷判決・刑集九卷六号一〇二三頁、昭和三六年（あ）第一六七六号同年十一月二日第三小法廷判決・刑集一五卷一〇号一七四二頁）の趣旨に照らし明らかであるから、所論は理由がない。

よつて、刑訴法四〇八条により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり判決する。

昭和五五年一月二五日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	栗	本	一	夫
裁判官	大	塚	喜	一郎
裁判官	木	下	忠	良
裁判官	塚	本	重	頼
裁判官	監	野	宜	慶